

## 土手の伊勢屋



イラスト・文/なかだえり

廓という閉ざされた世界の中で江戸文化を開花させ、栄華を極めた吉原。もとは日本橋にあったものが、1656(明暦2)年に風紀上の理由から、田んぼだらけだった現在の台東

区千束に移転した。通称土手通りの「土手」は山谷堀の土手。当時は重要な交通の一つで、吉原へは船で通う遊客も多く、「山谷通い」などと呼んで、不便なことすら粋な遊興にしてしまう江戸っ子の遊び心を感じる。

「吉原大門」の名をとどめるのは、山谷堀に平行した交差点。そこで長い間、吉原を見続けてきたのが、天ぶらの名店「土手の伊勢屋」だ。昼ときには行列する人々の姿をよく見かける。外観もさることながら秀逸に仕事がなされた立派な内装は、時代劇に出てきそうな雰囲気だ。天ぶらの材料である伊勢海老をモチーフにした窓ガラス、階段の手摺りもおもしろい。

創業は1889(明治22)年だが、この建物は2代目の1927(昭和2)年築のものだ。関

東大震災の後、帝都復興事業により土手を区画整理して土手通りをつくったときに再建。

一昨年には隣の「桜なべ中江」とともに登録有形文化財に登録された。ここで生まれ育ち調理場に立つのは、3代目若林喜一さん(81歳)。今は黒光りして年季の入ったこの建物も、子どもの頃は新しく真っ白な桧造りだったそう。以前はこうした木造の2階屋が当たり前だった。

通いの客が精をつけるため、この界限には馬肉屋がひしめき合っていた。伊勢屋も24時間体制のフル稼働で、朝帰り客、昼どき、午後には吉原で働いている人たちが、夕方からは吉原通いの客、夜中はお女郎たちへの出前といった具合に。今は古い建物と天ぶらの味を好む一般客に人気。

サクッと揚がった天井を食べながら揺らめく「見返り柳」を眺め、往年の吉原の繁栄に思いを馳せたい。

## 上野恩賜公園「竹の台広場」が完成しました！

東京の顔となる文化・観光の拠点として、上野恩賜公園の再生整備を進めてきましたが、このたび再生の第一段となる「竹の台・文化施設エリア」の整備が完成。新しくデザインされた大噴水の奥に東京国立博物館を望む見通しの良い景観となりました。また、広場の両サイドには緑に囲まれた2つのオープンカフェも完成し、来園者の人気を集めています。



▲新しくなった噴水池の回りは人々の憩いの場所に



▲開放的な雰囲気「スターバックス コーヒー」



▲木々に囲まれた「上野の森 PARK SIDE CAFE」



東京都東部公園緑地事務所  
〒台東区上野公園 7-47  
☎ 03-3821-6141

### 観光情報誌『台東瓦版』 広告を募集します！

台東区内の観光資源をはじめ、イベントや商店街などを紹介する観光情報誌です。

台東区が発行する「台東瓦版」に  
広告を出してみませんか？



配布地域：台東区内および近隣区配布  
発行部数：100,000部  
発行：台東区役所文化産業観光部にぎわい計画課  
編集・制作協力：株式会社ドゥ・アーバン

申し込み・不明なお問合せ下さい

台東区役所文化産業観光部にぎわい計画課

TEL 03-5246-1141  
FAX 03-5246-1515

規格：1冊 (40mm×85mm)  
販売価格：1冊 (30,000円)  
詳しくは台東区ホームページをご覧ください  
<http://www.city.taito.lg.jp/>

### 観光情報

台東区立浅草文化観光センター  
年中無休 9:00~20:00  
所在地：台東区雷門 2-18-9  
☎ 03-3842-5566

台東区観光ボランティアガイド  
上野公園や浅草寺など、観光のまち  
台東区を無料でガイドいたします。  
問合せ・申込み：☎ 03-3842-5599

TAITO おでかけナビ  
(台東区の公式観光情報サイト)  
問合せ：台東区観光課  
☎ 03-5246-1151  
ホームページ <http://taitonavi.jp/>  
台東区ホームページ (携帯電話用)  
NTT ドコモ、au、ソフトバンクに対応。  
<http://www.city.taito.lg.jp/m/index.html>



スマートフォン対応



発行・企画/台東区役所文化産業観光部にぎわい計画課  
〒110-8615 台東区東上野 4丁目5番6号  
TEL: 03-5246-1141 FAX: 03-5246-1515  
<http://www.city.taito.lg.jp/>

編集・制作・デザイン・印刷/  
株式会社ドゥ・アーバン  
イラスト/なかだえり  
平成24年7月20日発行

